

令和2年度（第3期）

事業報告書

令和2年4月1日から

令和3年3月31日まで

銚子電力株式会社

第3期事業報告書

銚子電力株式会社

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

1. 株式会社の現況に関する事項

(1). 事業の経過及びその成果

当該会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、企業設備投資や個人消費が抑制され、経済活動の停滞がございました。

このような事業環境において当社は、「銚子市に根差した電力会社」として、地域貢献事業の取り組み強化や組織体制の変更を通し、主に電力事業の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当会計年度の売上高は、741,291千円(予算比117.7%)となりました。

利益につきましては、粗利益30,417千円(予算比81.0%)、営業利益6,090千円(予算比80.5%)、経常利益5,764千円(予算比82.7%)、最終利益5,365千円(予算比86.3%)となり、予算未達ではあるものの、当社設立時の計画通り3期目での単年黒字化を果たしました。

売上面においては、電力事業は当社認知の向上にあわせ、一般家庭を中心とした低圧契約は好調に推移しましたが、法人との高圧契約は大手電力会社との厳しい価格競争を強いられ、苦戦いたしました。また、再エネ商材販売においては、昨年度からの課題である人的リソース投入を効果的に行えず、販売実績を得るも、目標には到達しませんでした。

経費面においては、体制変更による人件費の抑制や広告宣伝費の効率的な運用により、予算比81.1%となりました。

利益面においては、経費の効率化に加え、電力仕入れ原価の低減を図った結果、営業利益6,090千円、最終利益5,365千円で着地いたしました。

※当該予算は下期に行った体制変更に伴う修正予算

(2). 資金調達等についての状況

該当なし

(3). 直前3事業年度の財産及び損益の状況

	第1期	第2期	第3期
売上高(千円)	140,624	538,564	741,291
当期純利益(千円)	△9,737	△9,877	5,365
純資産額(千円)	252	△9,625	△4,260
総資産額(千円)	67,644	131,727	208,774
1株当たり当期純利益(円)	△97.47	△98.87	53.70

(4).対処すべき課題

2021年度は、黒字体質の定着と更なる業績拡大を達成する重要な年度として、電力事業では営業体制強化及び電力仕入価格低減による利益向上を行い、安定収益基盤の確立を目指します。

低圧需要家に対しては、積極的な広告施策、キャンペーン展開や販売代理店へのインセンティブ施策を行うとともに、当社の差別化要因である「地域に貢献する電力会社」という市場へのコミュニケーションの継続により、契約数を増加させて参ります。

銚子市内の発電所からの電力購入については、引き続き規模の大小を問わず、太陽光や風力といった再生可能エネルギーにより発電された電力の購入を推進して参ります。

再生可能エネルギー事業は、2020年度に得た実績、経験を活かし、公的な補助金の活用や販売代理店との営業提携を行い、住宅用太陽光発電システムの拡販を行います。また、銚子市と連携し、公共施設への太陽光発電自家消費システム等の導入提案を行って参ります。

業務面では、電力事業関連システムの刷新により業務の効率化、安定化を図るとともに、再生可能エネルギー事業においても、さらなる業務フローの構築、効率化に取り組みます。

(5).主要な借入先及び借入額

借入先	借入残高
銚子信用金庫	1,948万円
銚子商工信用組合	1,948万円

2.株式に関する事項

(1).株主の状況

①.発行済株式総数 99,900株

②.株主の状況

	名称	持株数	持株割合
1	銚子市	49,950株	50.0%
2	株式会社 Looop	33,966株	34.0%
3	株式会社エックス都市研究所	9,990株	10.0%
4	銚子信用金庫	2,997株	3.0%
5	銚子商工信用組合	2,997株	3.0%

3.会社役員に関する事項

(1).役員に関する事項

氏名	地位及び担当	重要な兼職の状況
伊東 孝之	代表取締役	—
越川 信一	代表取締役	銚子市長
永井 大介	取締役	(株) エックス都市研究所 サステイナビリティ・デザイン事業本部 新事業創出チーム リーダー
小嶋 祐輔	取締役	(株) L o o o p 電力事業本部/ スマートライフ事業部担当 取締役
信太 孝之	監査役	銚子市 企画財政課 洋上風力推進室 室長

(2).取締役、監査役ごとの報酬等の総額

区分	人数	報酬等の額
取締役	4名	765万円
監査役	1名	—

決算報告書

第 3 期

自 令和02年04月01日

至 令和03年03月31日

銚子電力株式会社

貸借対照表

令和03年03月31日 現在

銚子電力株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	206,203,080	【流動負債】	177,130,471
現金及び預金	123,061,525	買掛金	169,773,115
売掛金	83,135,932	1年以内返済長期借入金	3,072,000
貸倒引当金	△ 76,000	未払金	36,815
貯蔵品	16,000	未払費用	1,757,296
未収入金	123	前受金	12,704
前払費用	65,500	預り金	21,441
【固定資産】	2,571,281	未払消費税等	2,173,400
無形固定資産	2,531,851	未払法人税等	283,700
ソフトウェア	881,851	【固定負債】	35,904,000
ソフトウェア仮勘定	1,650,000	長期借入金	35,904,000
投資その他の資産	39,430	負債の部合計	213,034,471
出資金	20,000	純資産の部	
預託金	19,430	科目	金額
		【株主資本】	△ 4,260,110
		資本金	9,990,000
		利益剰余金	△ 14,250,110
		その他利益剰余金	△ 14,250,110
		繰越利益剰余金	△ 14,250,110
		(うち当期純利益)	5,365,135
		純資産の部合計	△ 4,260,110
資産の部合計	208,774,361	負債・純資産の部合計	208,774,361

損益計算書

自 令和02年04月01日

至 令和03年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	741,291,945	741,291,945
【売上原価】		
仕入高	710,874,065	
合計	710,874,065	
売上総利益		30,417,880
【販売費及び一般管理費】		24,327,766
営業利益		6,090,114
【営業外収益】		
受取利息	285	
受取配当金	400	
雑収入	292,428	293,113
【営業外費用】		
支払利息	594,640	
雑損失	24,152	618,792
経常利益		5,764,435
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純利益		5,764,435
法人税等		399,300
当期純利益		5,365,135

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和02年04月01日

至 令和03年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【販売費及び一般管理費】		
役員報酬	7,650,000	
給料賃金	3,920,476	
賞与	525,000	
法定福利費	1,079,594	
業務委託料	1,418,456	
広告宣伝費	3,125,547	
接待交際費	276,133	
旅費交通費	338,638	
通信費	809,640	
水道光熱費	117,836	
修繕費	53,637	
備品・消耗品費	757,218	
リース料	273,336	
地代家賃	753,532	
保険料	157,250	
租税公課	150,080	
支払手数料	1,585,419	
支払報酬	866,265	
会議費	22,428	
減価償却費	252,799	
貸倒引当金繰入額	14,000	
雑費	180,482	
販売費及び一般管理費合計		24,327,766

株主資本等変動計算書

自 令和02年04月01日

至 令和03年03月31日

銚子電力株式会社

(単位：円)

株主資本

資本金

当期首残高

9,990,000

当期変動額

0

当期末残高

9,990,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金

当期首残高

-19,615,245

当期変動額

当期純利益

5,365,135

当期末残高

-14,250,110

株主資本合計

当期首残高

-9,625,245

当期変動額

5,365,135

当期末残高

-4,260,110

純資産の部合計

当期首残高

-9,625,245

当期変動額

5,365,135

当期末残高

-4,260,110

個別注記表

自 令和02年04月01日

至 令和03年03月31日

銚子電力株式会社

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）及び平成28年4月1日以降取得した建物附属設備並びに構築物については定額法）を採用しています。

②無形固定資産

定額法を採用しています。

(2) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について合理的基準により計上するほか個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

①消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 99,900株

(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数 0株

以上

附属明細書

1.有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

	資産の 種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価 額	減価償 却累計 額
無形固定 資産	ソフトウェア	804,650	330,000	0	252,799	881,851	437,148

2.引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	62,000	14,000		76,000

監査報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの第3期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和3年5月31日
銚子電力株式会社
監査役 信太孝之